



2020 年 11 月 24 日

新型「ノート」を発表

-進化した第 2 世代「e-POWER」を搭載-

日産自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市西区、社長:内田 誠)は、24 日、「ノート」をフルモデルチェンジし、本年 12 月 23 日(予定)より発売すると発表しました。

日産のホームマーケットでの最量販車種である「ノート」は、事業構造改革「Nissan NEXT」においても、非常に重要なモデルです。



ノート X

初代「ノート」は、2005 年 1 月、「これまでのコンパクトカーになかった爽快な走り」と、使いやすい装備で自在に楽しめるコンパクトカー」をコンセプトに発売しました。その後も多くのお客さまにご支持をいただきながら進化を遂げた「ノート」は、15 年間で累計約 146 万台もの販売を記録しました^{*1}。

そして、2012 年 9 月の 2 代目発売から 4 年後の 2016 年 11 月、EV から生まれた日産の新しい電動パワートレイン「e-POWER」を搭載し発売。100%モーター駆動ならではの力強くレスポンスの良い加速と、優れた静粛性を実現した「電気の走り」は、お客さまから高い評価をいただき、2018 年暦年の登録車販売台数 No.1 を獲得しました。さらには、2017 年から 2019 年のまでの 3 年連続で暦年国内コンパクトカー販売台数 No.1、を獲得するなど、爆発的なヒットと共に日産を代表するモデルへと駆け上がりました。

^{*1} 2020 年 10 月末現在(日産調べ)

今回発表する 3 代目の「ノート」は、「コンパクトカーの常識を超える運転の快適さと楽しさが詰まった先進コンパクトカー」とのコンセプトのもと、プラットフォームを新設計すると共に、システムを大幅に刷新しパワーアップした第 2 世代の「e-POWER」を初搭載するなど、全く新しい先進コンパクトカーとして生まれ変わります。第 2 世代の「e-POWER」は、パワートレインのハードウェアとその制御を刷新し、より力強く上質な走りと効率化を高い次元で両立しました。さらに、スムーズで思い通りの「加速」や、なめらかな「減速」の制御、電動パワートレインならではの抜群の「静粛性」などを格段に向上させました。

また、コンパクトカーとしては初搭載となる運転支援技術「プロパイロット」は、日産初となるナビリンク機能を備えています。さらに、全方位の「360° セーフティサポート」などの先進安全技術も充実させることで、お客さまに安

[Type here]

心してお乗りいただけます。

新型「ノート」のデザインは、新世代に移行する日産デザインのキーワード、「タイムレス ジャパニーズ フューチャリズム」を具現化しました。本年 7 月にワールドプレミアした日産初のクロスオーバーEV「日産アリア」と一貫性を持った新型「ノート」のデザインは、コンパクトカーの常識にとらわれることなく、新しい価値観を訴求し、電動化の時代を感じさせるデザインとしました。

さらに、前後に備えた 2 つの強力なモーターで 4 輪を駆動する、本格電動 4WD 車も、本年 12 月に発表する予定です。

日産自動車最高執行責任者のアシュワニ・グプタは、「『e-POWER』は、日本のお客さまの厳しい目によって認められ、累計で 43 万台を販売してきました。その e-POWER にさらに磨きをかけ、パワーとレスポンス、静粛性をより一層向上させた第 2 世代の e-POWER を、新型ノートに搭載します。日産は、今日発表する新型ノートで、e-POWER ファンをさらに増やして参ります」と、述べました。

詳細は下記の通りです。

●e-POWER の進化

第 2 世代へと進化した「e-POWER」は、モーターとインバーターを刷新しました。モーターは先代「ノート」に比べ、トルクを 10%、出力を 6%向上させ、よりパワフルで気持ちの良い発進加速と、中高速からの追い越しでの力強い加速感を実現しています。インバーターは、第 1 世代よりも 40%小型化、30%軽量化し、さらにエンジンの効率も高めたことで、加速性能だけでなく同時に燃費向上も実現しています。また、システムの制御によるエンジンの作動頻度低減や、車体の遮音性能向上により、コンパクトカーでありながら、1 クラス上の静粛性を実現しました。加えて、路面状態からロードノイズが大きいと判断した場合には、積極的に発電を行う制御システムを世界で初めて開発、より静粛性を高めています。

●全方位の先進安全技術

360° セーフティサポートを実現する先進安全技術を搭載し、全方向での安全性を向上させました。また、「プロパイロット(ナビリンク機能付)」を初搭載^{*2}しました。高速道路での同一車線走行時の運転操作をサポートするプロパイロットに、ナビゲーションシステムとの連携機能を加えることで、制限速度の変化に伴う設定速度の切り替えや、カーブの大きさに応じた減速をシステムが支援し、ドライバーの操作頻度を軽減、安心かつ快適なドライブを実現します。

さらに車体骨格には、日産初の 1470MPa 級の超ハイテン材(冷間プレス用超高張力鋼板)を使用し、軽量化と衝突安全性を高い次元で両立させています。

●コンパクトカーの常識を超えたエクステリアデザイン

フロントグリルと一体化した薄型のヘッドランプ、そこにつながる新型の V モーションクローム、フロントからリアまで一本の線でつながるキャラクターラインとその下に広がるクリーンで見る角度により、豊かにうつろう張りのある面の抑揚、水平に広がる横一文字のシェイプをもつ特徴的なシグネチャーのリアコンビランプなど、日産の新しいデザインランゲージによる先進的で、クリーンかつダイナミックなデザインで、コンパクトながらもひととき際立つ存在感を放っています。また、フロントグリルには、日本の伝統工芸である組子からインスパイアされたパターンをあしらひ、「日本の風景に溶け込むデザイン」となっています。スリークで先進的なヘッドランプは、4 連 LED プロジェクターを採用^{*3}しました。同様にオプション設定の 16 インチのアルミホイールには、日本の刀からインスパイアされたシャープで洗練されたデザインを施しており、「e-POWER」の走りのパフォーマンスを想起させるデザインになっています。ボディカラーは、2 色の 2 トーンを含む、全 13 色の幅広いカラーバリエーションを用意し、お客さまの好みに合わせて楽しく選べるラインアップとしました。先進的で、躍動感のある「ビビッドブルー」や、新型「ノート」向けに

[Type here]

開発した、日産の新色であるクールトーンの「オペラモープ」は、洗練された大人に似合うカラーとなっています。

●先進的で快適な室内空間

インテリアデザインは、コンパクトカーの常識を覆す先進的で快適な空間を実現しています。外に向かって広がるようなインストルメントパネルにセンターディスプレイと一体化したメーターを装備し、電動化に相応しい先進感と使い易さを兼ね備えた、日産の新たなインテリアデザインの思想を体現しています。また、小型の電制シフトレバーが乗るブリッジ型のセンターコンソールには、大型の収納スペースやロングリーチのアームレストを装備したことで、革新的なデザインと共に、快適なドライビングの両立が楽しめます。また、前席のセンターコンソールには、スマートフォンのワイヤレス充電器などの利便性の高い機能を装備^{*3}しています。後席には、リクライニング機能を備え、ニーラーム、ヘッドラームとともに、クラストップのゆったりとしたスペースを確保しています。さらに荷室においては、広い開口部と荷室幅を確保したことで、ストレスなく荷物を収納することが可能です。インテリアカラー & マテリアルは、3 種類のバリエーションをご用意しました。X グレードには、グラデーションストライプのジャージシートと合皮レザーアームレストのコンビネーション。また、インストルメントパネルには、カーボン調の加飾を配し、水平に広がる長いマットクロームのフィニッシャーが特徴的な、すっきりとモダンなカラーコーディネートとなっています。

*2 日産国内初搭載

*3 メーカーオプション設定になります。

全国希望小売価格(消費税込み)

(単位:円)

駆動	エンジン	グレード	ミッション	価格
2WD	HR12DE-EM47	F	-	2,054,800
		S		2,029,500
		X		2,186,800

WEB カタログ: <https://www3.nissan.co.jp/vehicles/new/note.html>

特設 Web サイト: <http://www.nissan.co.jp/SP/NEWCOMPACT/UNVEIL/>

日産自動車の関連会社である株式会社オーテックジャパン(本社: 神奈川県茅ヶ崎市、社長: 片桐 隆夫)は、24 日、フルモデルチェンジした「ノート」をベースに、カスタムカー「AUTECH」、および、「助手席回転シート」を設定し、「AUTECH」は来年 2 月より、また「助手席回転シート」は本年 12 月 23 日(予定)より、日産の販売会社を通じて全国一斉に発売すると発表しました。

[Type here]



ノート「AUTECH」



ノート「助手席回転シート」

<新型ノート「AUTECH」>

「AUTECH」は、オーテックジャパン伝統のクラフトマンシップを継承しつつ、スポーティでありながら高級感漂うスタイリングを特徴とするブランドです。素材などの細部にまでこだわりを持つお客さまに向けたブランドで、プレミアムスポーティをコンセプトとしています。また、オーテックジャパン創業の地である湘南・茅ヶ崎の「海」と「空」のイメージから想起したブルーが、ブランドのアイコンックカラーです。

2代目となる新型ノート「AUTECH」は、先進コンパクトカーである新型「ノート」をベースに、更に高級感や特別感を高めたモデルとしてデビューします。

エクステリアは、どの角度から見ても美しく輝くようにデザインしたドットパターンのフロントグリルや、専用デザインのアルミホイールを採用しました。さらに、低重心とワイドスタンスを印象付けつつ、スポーティさを演出するメタル調フィニッシュの専用パーツを車体下部に装備しました。また、フロントバンパーには、AUTECH 専用のブルーに輝くシグネチャーLEDを採用することで、昼夜問わず一目で「AUTECH」とわかる、個性豊かなスタイルに仕上げました。

インテリアは、シート地に、柔らかな手触りで体に馴染むレザーを採用し、海面の波の動きをモチーフにした模様を施しました。インストパネルには、鮮やかな木目が特徴的な高級材、紫檀（シタン）の柄にダークグレー色を施しつつ、さりげなくブルーに光るパールをあしらいました。また、ハンドルやシートなどにブルーを配し、インテリア全体をブルーとブラックでコーディネートしました。さらに、後席中央にアームレストを装備するなど、上質な素材とこだわりのディテール表現により、ワンランク上のエレガントな空間を演出しました。

ボディカラーは、「オーロラフレアブルーパール」、「ピュアホワイトパール」それぞれに、「スーパーブラック」のルーフを組み合わせた2トーンカラー、そして、「ミッドナイトブラック」を「AUTECH」専用カラーとして設定。全8色のカラーバリエーションとしました。

[Type here]

仕様	AUTECH
ベース車	X
主な特別装備	・AUTECH専用エクステリア (フロントグリル、グリルフィニッシャー(ダーククローム)、フロントプロテクター(メタル調フィニッシュ)、 サイドシルフィニッシャー(メタル調フィニッシュ)、リヤプロテクター(メタル調フィニッシュ)、 AUTECHエンブレム<フロント・リヤ>) ・専用シグネチャーLED ・専用サイドターンランプ付 電動格納式リモコンカラードアミラー(メタル調フィニッシュ) ・専用16インチアルミホイール(切削光輝)&185/60R16 86Hタイヤ ・LEDヘッドランプ、アダプティブLEDヘッドライトシステム、LEDフォグランプ ・AUTECH専用インテリア (ブルー/ブラックコンビレザレットシート「AUTECH」刺繍(ブルーステッチ)、ダークウッド調フィニッシャー<インストロア>、 合皮アームレスト<フロントセンター、フロントドア>(ブルーステッチ)、 フロントセンターアームレスト(センターコンソールボックス)(ブルーステッチ)、リヤセンターアームレスト(カップホルダー2個付)) ・専用本革巻ステアリング(ブラック/ブルーコンビ &ブルーステッチ) ・AUTECHエンブレム(センターコンソール)
ボディカラー	オーロラフレアブルーパール(P)/スーパーブラック 2トーン <#XGN・特別塗装色>【AUTECH専用色】 ピュアホワイトパール(3P)/スーパーブラック 2トーン <#XAB・特別塗装色>【AUTECH専用色】 オーロラフレアブルーパール(P) <#RAY・特別塗装色> ミッドナイトブラック(P) <#GAT・特別塗装色>【AUTECH専用色】 ピュアホワイトパール(3P) <#QAC・特別塗装色> ダークメタルグレー(M) <#KAD> ガーネットレッド(CP) <#NBF・特別塗装色> プレミアムホライズンオレンジ(PM) <#EBB・特別塗装色> (P)はパール、(3P)は3コートパール、(M)はメタリック、(CP)はカラークリアパール、(PM)はパールメタリックの略。 ※内装色はブラック(G)

<新型ノート「助手席回転シート」>

新型ノート「助手席回転シート」は、簡単な手動操作で、助手席を車外に向けて回転できるモデルです。スカートや和服を着ていても足を揃えてスマートに乗り降りすることが可能になります。助手席回転シートには、ベース車と同様にロングドライブでの快適性をさらに追求したゼログラビティシートを採用しています。また、新たにシートスライド機能の採用により乗車中の快適性を高めました。なお、助手席回転時の足先のスペースはクラストップレベルを確保しています。

<全国希望小売価格(消費税込み)>

単位 :円)					
車種	駆動	エンジン	ベース車グレード	ミッション	価格
AUTECH	2WD	HR12DE-EM47	X	-	※
助手席回転シート	2WD	HR12DE-EM47	X	-	2,285,800

※価格については本年12月に発表いたします。

<WEB カタログ>

ノート「AUTECH」: https://www.autech.co.jp/sv/note_autech/index.html

ノート「助手席回転シート」: <https://lv.nissan.co.jp/LVCAR/NOTE/SPINFRT/>

以上